

ミニボート 安全ハンドブック

安全に釣りを楽しむために



JAPAN COAST GUARD

小樽海上保安部 海上保安協会小樽支部

ミニボートを安全に利用するために

ミニボートの海難

免許や船舶検査が不要な、「ミニボート」()と呼ばれる船舶の海難は、過去5年間で137隻発生し、6人が死亡しています。(全国値)

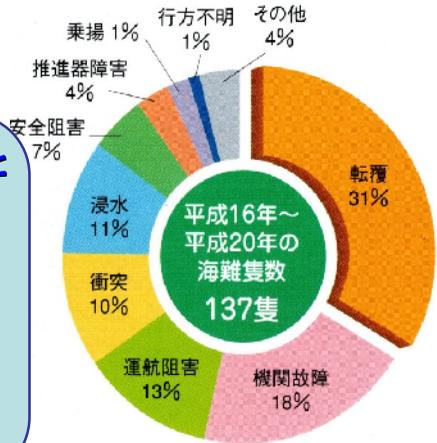
転覆の主な原因は、「**気象・海象不注意**」と「**船体バランス不注意**」

「**気象・海象不注意の事例**」

風が強くなってきたので帰港しようとしたら、船首から大波を受け転覆
波が高くなってきたので反転しようとしたら、浸水し転覆

「**船体バランス不注意の事例**」

船上に立って揚錨中、船体のバランスを崩し転覆
船内で移動しようとして船体のバランスを崩し転覆



ミニボートを安全に利用するため、以下の基本を必ず守りましょう！

海事知識が不足

ミニボートは免許のいない船舶ですが、船長としての責任は負います。ルール・マナーを守らず運航することは、自船及び他船に危険をもたらします。

基本その1 海のルールを守る！

転覆

ミニボートはコンパクトに構成されていることから、手漕ぎボートと同様に気象(風・波)、他船の航走波の影響を受けやすく、転覆して海上に投げ出される危険性が高い。

基本その2 風が強い時、波が高い時、不安な時は、出航中止！

衝突

ミニボートはそのコンパクト性から他の船舶から存在が把握しにくく、衝突される可能性が高い。

基本その3 視界のすぐれない早朝、霧の時には、出航中止！

漂流

ミニボートは推進機関が小さい事から、潮流に流され海岸へ戻れなくなる危険性があります。

基本その4 海岸から遠く離れるような航行はしない！

ミニボートの範囲は、次の要件を満たす船舶です。

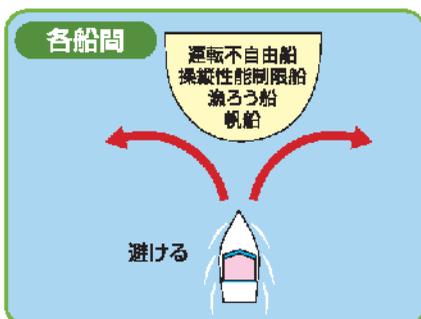
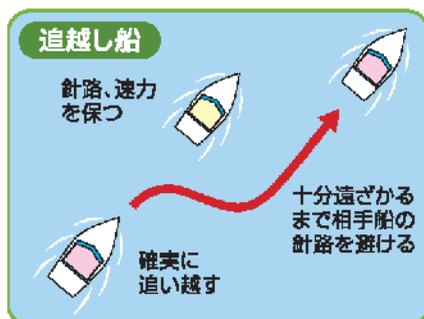
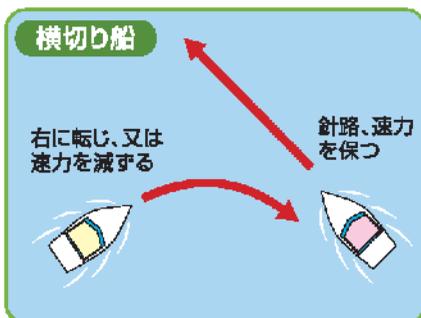
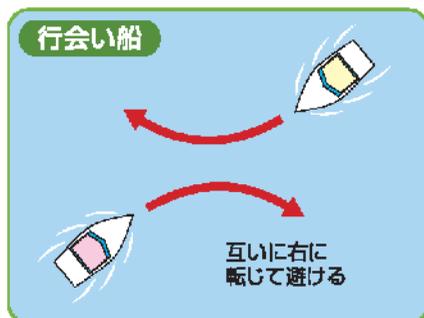
全長3m未満 推進器出力1.5kw未満(約2馬力)
直ちにプロペラの回転を停止することのできる機構を有する船舶
その他のプロペラによる人の身体の障害を防止する構造を有する船舶

海の基本ルール

海上でも陸上と同じように交通ルールがあります。

(海上衝突予防法、港則法、海上交通安全法)

陸上と違い停止していても他の船を避ける義務が生じます。
基本的なルールを守り事故を防止しましょう。



ミニボートは非常に小さいため、波間に見えなくなり、また、レーダーでも探知し難いため、相手船から見えていない可能性があります。

目立つ旗を掲げたり、レーダー反射物(空き缶等)を掲げるなど、**衝突防止のため自船の存在をアピール**しましょう。

ミニボートは、灯火がないため夜間に出ることは避けましょう。やむを得ず**夜間に出る場合は、明かりを掲げ、自船の存在をアピール**してください。

自己救命策3つの基本

ライフジャケットの常時着用!

もしも、海中転落してしまったら...

まず、**海に浮いていることが重要**です。
 浮かんでいれば、救助の手が差し延べられます。
 そのためには、ライフジャケットを着用することが極めて有効です。



連絡手段の確保!!

防水パックを使用した携帯電話の携行！
 ライフジャケットを着用し、海に浮いていて、
 救助されるためには、「助けて欲しい！」と救助機関へ
 通報・要請しなければなりません。
 そのためには、**耐水タイプ又は防水パックに入れた携
 帯電話を携行**するなど、連絡手段を確保しましょう！



海のもしもは118番!!!

海上保安庁では、緊急通報用電話番号を 局番なし
 118番(無料)として設定しています。
 最新のGPS付き携帯電話で118番通報されると自動
 的に位置情報データも発信され素早い救助活動に役
 立ちます。

もしもの時の救助要請は、118番まで!
 救助要請を受けた海上保安庁などが、他の機関と連
 携しつつ救助に駆けつけます。



第一管区海上保安本部 「マリンレジャーの部屋」

http://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/marirehp/marire_top.html

釣りの心得

出かける前に

海上では天候が急変することがあるので、出発前には、最新の気象情報で釣り場の**天候**を予測し、注意報が発令されているときは中止しましょう。

携帯電話等の連絡手段を確保し、家族などに、行き先や行動予定を伝えてから、釣りに出掛けましょう。

万一に備え、服装は、赤や黄色等の**目立つ服装**を心がけましょう。



釣り場では

釣りに出掛けるときは、万一に備え、**単独行動は避けましょう**。また、釣り場に到着したら、海中転落した際の上陸場所やお互いの救助方法を確認しましょう。

ライフジャケットは常時、正しく着用するようにしましょう。

立ち入り禁止となっている場所での釣りは止めましょう。**安全な釣り場を確保**しましょう。

防波堤や岩場は避難する場所が限られているので、常に海上模様や雲の動きに注意し天候や海上模様の悪化が予想されれば、どんなに魚が釣れていても直ちに中止し、避難しましょう。ちょっとした**無理が命取り**になります。

磯場は、海草などで滑りやすくなっているので、十分注意しましょう。また、後ろから襲ってくる波など、常に**周囲の環境に注意**しましょう。

海中転落があった場合、転落者から目を離すことなく、クーラーボックスなど浮力のあるものやロープなどを投入、**身体を確保**し、付近にいる人に協力してもらい救助活動にあたりましょう。

小さな魚はリリース、**ゴミは責任を持って持ち帰り**、自然環境を守りましょう。

小樽海上保安部管内での事故事例

石狩湾港放水路砂浜から出港し、北防波堤付近でカレイ釣りをしていたところ、**風が強くなってきたため出港地に向け帰港しようとした際、船首から約2mの波を受け転覆**、該人は、転覆したボートを自力で起こし這い上がったが、船外機(2馬力未満)は冠水し始動不能、携帯電話の入ったクーラーボックスは流出し連絡手段がなくなり、ゴムボート付属のオールで帰還を試みたが、風が強く、転覆現場付近から北西約10km沖合いに漂流し、翌日に通りかかった漁船により発見救助された。

・ **当時の気象 晴 東の風10m/s 波1.5m 気温19度**

軽く小さなボートは、波や風に弱いため天候悪化の前に切り上げ、携帯電話は身に着けましょう。

悪化が予想される場合は、中止の決断も重要です。

銭函海岸沖合いで手漕ぎゴムボートに乗り、錨を入れて釣りをしていたが、帰るため錨を揚げようとしたところ、バランスを崩し転覆し、海中へ投げ出された。

転落者は、漁船により救助後、低体温症で入院

軽く小さなボートは、バランスが悪いため、錨を揚げる際は、姿勢を低くし、船首尾から引揚げるなど十分注意しましょう。

島牧村大平川河口付近斜路からボートを降り沖合い100m付近で釣りをしていたが、移動のため船外機を起動させても起動しないため、118番通報により救助要請
機関整備後の試運転を兼ねていたが、出港当初からエンジン音が不安定だった。

陸上と違い、歩いて帰ることはできません、機関整備は万全にし、不安があれば中止しましょう。



こんなのは、みんなの迷惑・・・

積丹町の漁港から釣りをしようと出港、釣果が得られなかったので、釣りをあきらめ、付近海岸の岩場にゴムボートを係留したまま、山菜取りをするため山に入った。

帰ろうと戻ったところ、ボートのロープが解け、沖合いに流れていたため回収をあきらめ海上保安部等への通報もせず帰宅した。

3日後、石狩市浜益沖に無人で漂流しているボートが発見され、巡視艇で同ボートを回収、海中転落の可能性があることから、海保、警察、消防等により、沿岸及び海上を車両、船艇、航空機を動員して捜索を行った。

この状況を持ち主が新聞報道で知り、後日出頭したことで、無人流出事故と判明した。

捜索により、多額の税金が消費されることとなりました。

係留はしっかり行い、ボートから離れる場合は、放置せず陸揚げしましょう。

ボートには連絡先を記入し、また、流出してしまった場合は、かならず関係機関へ通報しましょう。



MICS : 沿岸域情報提供システム

MICS : Maritime Information and Communication System

「誰もが簡単に」、「必要な情報を必要なときに」、「誰にでも分かりやすく」をコンセプトに、プレボートジャー、漁船などの船舶運航者やマリンレジャー愛好者の方々に対して、インターネットや携帯電話などを通じ、全国の海上保安部からリアルタイムに、海の安全情報を提供しています。

このシステムは、気象・海象の現状や過去のデータ、地域の安全情報(海上工事・海上行事)、ライブカメラによる画像などにより、海に関する安全情報を提供しています。

海に出かける前に、安全に関する情報を事前に入手することにより、出港の可否やレジャー活動の場所の決定等、海難を防止するために活用してください。

小樽海上保安部 気象観測情報 テレフォン・携帯webサービス

青苗岬・弁慶岬・神威岬・天売島・焼尻島

0134 - 23 - 1177 (テレフォンサービス)

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/otaru/m> (iモード等)



<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/otaru/m> (iモード等)

<http://www6.kaiho.mlit.go.jp/otaru/> (インターネット)

海のもしもは、118番！



小樽海上保安部

〒047-0007

小樽市港町5番3号

0134 27 6118